



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月6日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4960 URL http://www.chemipro.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片木 茂行
 問合せ先責任者 (役職名) 総合管理部長 (氏名) 竹内 亨 TEL 078 (393) 2530
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有・無
 四半期決算説明会開催の有無： 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 2,153 | △8.9 | 115 | △36.7 | 79 | △46.2 | 49 | △39.3 |
| 24年3月期第1四半期 | 2,364 | △3.1 | 182 | 44.2 | 147 | 70.2 | 81 | △3.4 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 2.97 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 4.89 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 13,492 | 3,732 | 27.7 | 225.25 |
| 24年3月期 | 12,656 | 3,771 | 29.8 | 227.60 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,732百万円 24年3月期 3,771百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有・無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,280 | △10.8 | 240 | △20.1 | 160 | △30.6 | 80 | 0.6 | 4.83 |
| 通期 | 8,550 | △0.3 | 450 | △14.5 | 240 | △33.3 | 130 | △2.4 | 7.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有・無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(注) 詳細は、添付資料P3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年3月期 1 Q | 16,623,613株 | 24年3月期 | 16,623,613株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期 1 Q | 54,186株 | 24年3月期 | 53,747株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年3月期 1 Q | 16,569,838株 | 24年3月期 1 Q | 16,570,467株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり
ます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 1 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |
| (5) 重要な後発事象 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国では、雇用が低迷、個人消費も緩やかな伸びにとどまる等景気減速懸念がでてきており、欧州では、欧州ソブリン債務問題の不安拡大等により、景気下振れ懸念が高まってきたことに加え、中国等の新興国経済は、スローダウン基調となってきたこと等減速懸念が強まりました。

一方、日本経済は、東日本大震災の復興需要等の景気の押し上げ要因があるものの、米欧経済の低迷と長引く円高により景気鈍化が懸念され、国内外経済全体としては減速感の強まる状況となりました。

当社の属するファインケミカル業界は、国内外経済の減速傾向に加え、世界の自動車産業に減速懸念が出てきたことにより、売上高ベースでは、引き続き厳しい状況となりました。また、収益環境においても、円高の状況が続く中、中国・アジアマーケットを中心にグローバルな販売価格競争は続いており、依然厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社の第1四半期累計期間の業績は、主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量が前年同四半期比6割程度と低迷した影響により、売上高では、前年同四半期比210百万円減少し、2,153百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。利益面は経費圧縮に努めましたものの、減収に伴う利益悪化要因に加え、一部の製品の生産効率低下などによる利益圧迫要因等により、営業利益は115百万円(同36.7%減)、経常利益は、生産休止費用等の計上もあり79百万円(同46.2%減)となりました。四半期純利益については、明石工場事故に係る保険金収入49百万円を特別利益に計上したこと、当該事故に係る事故対策費32百万円を特別損失に計上したこと、法人税等47百万円を計上したことにより、49百万円(同39.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、国内外経済の減速傾向に加え、世界の自動車産業に減速懸念が出てきたことを受け、主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量が前年同四半期比6割程度と低迷した影響により、紫外線吸収剤で前年同四半期比262百万円減の1,056百万円(前年同四半期比19.9%減)となったことに加え、国内外経済の減速の影響は、製紙用薬剤、酸化防止剤、電子材料においてもでてきており、各々について相当程度の減収となりましたが、一部の受託製品で好調なものがあり、受託製品を含むその他の化成品が454百万円(同36.7%増)と底堅く推移した結果、全体では同223百万円減の1,842百万円(同10.8%減)にとどまりました。

(ホーム産業事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤における新規製品の売上が寄与し、前年同四半期比13百万円増の255百万円(前年同四半期比5.5%増)となった結果、全体では同12百万円増の310百万円(同4.1%増)となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円,%)

| セグメント別 | 期別 区分 | 前第1四半期累計期間 平成24年3月期 | | 当第1四半期累計期間 平成25年3月期 | | 増減 |
|---------|----------|------------------------|-------|------------------------|-------|----------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 |
| 化学品事業 | 紫外線吸収剤 | 1,318,399 | 55.8 | 1,056,245 | 49.1 | △262,153 |
| | 写真薬中間体 | 127,675 | 5.4 | 131,655 | 6.1 | 3,980 |
| | 製紙用薬剤 | 98,101 | 4.1 | 75,634 | 3.5 | △22,467 |
| | 酸化防止剤 | 86,779 | 3.7 | 52,482 | 2.4 | △34,297 |
| | 電子材料 | 84,054 | 3.6 | 50,486 | 2.3 | △33,568 |
| | 防錆剤 | 13,539 | 0.6 | 14,717 | 0.7 | 1,178 |
| | 染顔料中間体 | 5,168 | 0.2 | 7,443 | 0.4 | 2,274 |
| | その他 | 332,153 | 14.0 | 454,101 | 21.1 | 121,948 |
| | (小計) | 2,065,872 | 87.4 | 1,842,766 | 85.6 | △223,105 |
| ホーム産業事業 | 木材保存薬剤 | 241,989 | 10.2 | 255,353 | 11.9 | 13,363 |
| | D I Y商品 | 13,863 | 0.6 | 7,389 | 0.3 | △6,473 |
| | その他 | 42,533 | 1.8 | 47,958 | 2.2 | 5,424 |
| | (小計) | 298,386 | 12.6 | 310,701 | 14.4 | 12,314 |
| 合計 | | 2,364,258 | 100.0 | 2,153,468 | 100.0 | △210,790 |

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末(以下「当四半期末」という)の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という)比836百万円増加し、13,492百万円となりました。流動資産は同838百万円増の8,692百万円、固定資産は同1百万円減の4,788百万円、繰延資産は同1百万円減の11百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加額394百万円、受取手形及び売掛金の増加額229百万円、たな卸資産の増加額120百万円などによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が11百万円増加したものの、無形固定資産が3百万円減少したことおよび投資その他の資産が8百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比875百万円増加し、9,760百万円となりました。流動負債は同629百万円増の7,160百万円、固定負債は同245百万円増の2,599百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加額475百万円その他、賞与引当金および短期借入金等の増加と未払法人税等の減少を反映したものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加などによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比39百万円減少し3,732百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純利益を49百万円計上しましたが、配当金の支払82百万円があったことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は27.7%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

世界経済は、米国の雇用低迷、個人消費の伸び悩み、欧州ソブリン債務問題の不安拡大等により、米欧経済の低迷は依然続くものと予想され、中国等の新興国経済においてもスローダウン基調となってきたこと等により、減速懸念が更に強まっております。一方、日本経済は、東日本大震災の復興需要等の景気の押し上げ要因があるものの、米欧経済の低迷と長引く円高により景気鈍化が懸念され、国内外経済は更に厳しい状況となるものと思われま

す。当第1四半期累計期間の業績は、5月10日発表の業績予想に対し、おおむね計画通りの推移となっておりますが、国内外経済が更に減速する影響が、7月頃より相当程度でてくるものと見込まれることから、平成25年3月期第2四半期累計期間、通期の業績予想について現在見直し中であります。

従いまして、平成24年5月10日に公表いたしました数値は変更しておりません。公表可能な情報となり次第、適時開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,561,273 | 2,955,342 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,043,997 | 2,273,055 |
| 商品及び製品 | 2,631,987 | 2,626,833 |
| 仕掛品 | 141,850 | 143,908 |
| 原材料及び貯蔵品 | 366,285 | 489,597 |
| その他 | 121,091 | 215,618 |
| 貸倒引当金 | △13,052 | △12,114 |
| 流動資産合計 | 7,853,433 | 8,692,241 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 1,003,299 | 994,686 |
| 土地 | 2,980,462 | 2,980,462 |
| その他(純額) | 567,166 | 586,908 |
| 有形固定資産合計 | 4,550,928 | 4,562,057 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 38,240 | 34,633 |
| 投資有価証券 | 105,073 | 97,328 |
| その他 | 115,923 | 114,820 |
| 貸倒引当金 | △20,410 | △20,318 |
| 投資その他の資産合計 | 200,586 | 191,830 |
| 固定資産合計 | 4,789,756 | 4,788,521 |
| 繰延資産 | 12,873 | 11,725 |
| 資産合計 | 12,656,062 | 13,492,488 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,008,218 | 1,483,757 |
| 短期借入金 | 3,900,000 | 3,950,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 981,667 | 1,054,708 |
| 未払法人税等 | 126,638 | 51,336 |
| 賞与引当金 | 50,397 | 76,693 |
| その他 | 463,425 | 543,786 |
| 流動負債合計 | 6,530,347 | 7,160,282 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 250,000 | 250,000 |
| 長期借入金 | 1,326,898 | 1,610,921 |
| 退職給付引当金 | 273,347 | 279,657 |
| 環境対策引当金 | 2,172 | 2,172 |
| その他 | 501,977 | 457,148 |
| 固定負債合計 | 2,354,394 | 2,599,898 |
| 負債合計 | 8,884,741 | 9,760,180 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,155,352 | 2,155,352 |
| 資本剰余金 | 1,052,562 | 1,052,562 |
| 利益剰余金 | 565,859 | 532,174 |
| 自己株式 | △13,840 | △13,891 |
| 株主資本合計 | 3,759,934 | 3,726,198 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,387 | 6,109 |
| 評価・換算差額等合計 | 11,387 | 6,109 |
| 純資産合計 | 3,771,321 | 3,732,307 |
| 負債純資産合計 | 12,656,062 | 13,492,488 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 2,364,258 | 2,153,468 |
| 売上原価 | 1,878,204 | 1,755,458 |
| 売上総利益 | 486,054 | 398,009 |
| 販売費及び一般管理費 | 303,986 | 282,740 |
| 営業利益 | 182,068 | 115,269 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 1 |
| 受取配当金 | 2,377 | 2,511 |
| その他 | 19,801 | 5,454 |
| 営業外収益合計 | 22,179 | 7,968 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30,419 | 25,606 |
| 生産休止費用 | — | 11,846 |
| その他 | 26,363 | 6,472 |
| 営業外費用合計 | 56,782 | 43,925 |
| 経常利益 | 147,465 | 79,311 |
| 特別利益 | | |
| 保険金収入 | — | 49,684 |
| 特別利益合計 | — | 49,684 |
| 特別損失 | | |
| 事故対策費 | — | 32,402 |
| 特別損失合計 | — | 32,402 |
| 税引前四半期純利益 | 147,465 | 96,593 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 66,412 | 47,429 |
| 四半期純利益 | 81,052 | 49,164 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。